

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月24日

協議会名:河内長野市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
南海バス株式会社	日野・滝畑コミュニティバス	新型コロナウイルス感染症の拡大により利用者が減少した交通事業者において、既存の交通サービスを確保することを目的として、バス1日周遊チケットおよびタクシー初乗り運賃チケットを発行した。さらに、65歳以上の市民が新型コロナワクチンの接種時に利用できる高齢者バス・タクシー共通乗車券を交付し、高齢者の移動支援及び公共交通利用の需要喚起を図った。今後も感染収束後を見据えながら、公共交通の利用促進策や高齢者への対応策の検討を進める。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	【輸送人員】 目標:従来水準までの回復 実績:減少(対R2年度比△2.8%、R1年度比△23.8%) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少
南海バス株式会社	日野・滝畑コミュニティバス2(奥河内くろまろの郷経由系統)		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	【輸送人員】 目標:従来水準までの回復 実績:対R2年度比微増、対R1年度比減少(対R2年度比+1.5%、R1年度比△19.9%) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少
南海バス株式会社	路線バス小深線2(石見川系統)		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	【輸送人員】 目標:従来水準までの回復 実績:減少(対R2年度比△10.2%、R1年度比△28.9%) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少
南海バス株式会社	路線バス高向線1(高向起終点系統)		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	【輸送人員】 目標:従来水準までの回復 実績:減少(対R2年度比△9.5%、R1年度比△28.1%) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少
南海バス株式会社	路線バス天野山線5(旭ヶ丘系統)		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	【輸送人員】 目標:従来水準までの回復 実績:減少(対R2年度比△7.7%、R1年度比△24.1%) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少
南海バス株式会社	路線バス天野山線4(天野山起終点系統)		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	【輸送人員】 目標:従来水準までの回復 実績:減少(対R2年度比△15.4%、R1年度比△53.6%) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少
南海バス株式会社	路線バス天野山線3(サイクルセンター系統)		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	【輸送人員】 目標:従来水準までの回復 実績:減少(対R2年度比△15.4%、R1年度比△53.6%) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少

令和3年度も年間を通じて、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。そのため全路線において利用者は令和元年度比で大幅に減少しており、感染収束後の利用喚起を図る施策を展開する。今後も感染収束後を見据えながら、公共交通の利用促進策や高齢者への対応策の検討を進める。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年1月24日

協議会名:	河内長野市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>河内長野市は大阪府の南東端に位置し、人口約10万2千人(令和3年9月末時点)、面積は109.63km²と府内で3番目に広い。市域の約7割を森林が占め緑豊かな環境である一方、住宅団地が点在するため公共交通は市民生活を支える大切な交通手段である。</p> <p>しかしながら、人口減少や少子高齢化、ライフスタイルの変化などの要因により、路線バスやコミュニティバス等の公共交通利用者が年々減少を続けており、持続可能な公共交通を確保することが極めて厳しい状況にある。そのため、住民、交通事業者、行政などの関係者による協働の取り組みを進め、市内を運行する路線バスやコミュニティバス等の公共交通の維持・充実を図る必要がある。</p>